

平成27年度自治基本条例フォーラム アンケート結果

平成28年2月6日実施

参加総数 46名

アンケート 34名

Q1.

| | | |
|----|--------|----|
| 年齢 | 29歳以下 | 0 |
| | 30～49歳 | 9 |
| | 50～64歳 | 6 |
| | 65歳以上 | 18 |
| | (空白) | 1 |

| | | |
|----|------|----|
| 性別 | 男性 | 18 |
| | 女性 | 16 |
| | (空白) | 0 |

| | | |
|----|------|----|
| 活動 | 活動中 | 13 |
| | 以前あり | 6 |
| | 活動なし | 12 |
| | (空白) | 3 |

Q2.

| | | |
|----|----------|----|
| 媒体 | 広報 | 15 |
| | 町会掲示板 | 9 |
| | ポスター(公共) | 10 |
| | ポスター(保幼) | 0 |
| | ポスター(金ス) | 1 |
| | ポスター(他) | 5 |
| | 協働課HP | 7 |
| | TOMATOHP | 1 |
| | facebook | 4 |
| | twitter | 0 |
| | 知人 | 4 |
| | その他 | 1 |

Q3.

| | | |
|------|--------|----|
| つながり | 十分持つてる | 8 |
| | 実践したい | 4 |
| | 機会があれば | 18 |
| | 思わない | 0 |
| | (空白) | 4 |

Q4.

| | | | | | |
|----|-------|----|---|-------|---|
| 条例 | 知っていた | 21 | ⇒ | 広報・回覧 | 9 |
| | 知らない | 13 | | HP | 2 |
| | (空白) | 0 | | その他 | 3 |
| | | | | (空白) | 9 |

Q5. フォーラムで印象に残ったこと

| |
|---|
| ・各々の地区の中で、皆さんががんばっていることが良くわかりました。 |
| ・つながりの大切さ。 ・健康とつながりがどの様に関係するのか良く分った。 |
| ・地域のつながりの重要性。 |
| ・「つながり」は災害の時のみ必要と思っておりましたが、健康にも良い事がわかりました。 ・活動することでつながりも出来てくる事。 |
| ・「つながり」と「健康」の相関を具体的な例を用いて示された点。 ・グループトークは突然のことで驚いたけれども、世代を越えてお話できて面白かったです。 |
| ・助けてあげることも身体に良い。 ・過剰な支援は逆効果。 ・亭主関白協会が印象的でした。 ・男は出番がほしい。 |
| ・今日会った方とお話がいろいろできて良かった。 |
| ・地域とのつながりがいかに大切かがわかった。健康にも良い事も。 |
| ・近藤先生のお話は身近なものとして感じました。誰ともつながらなくて一人で居る人が多く感じます。 |

| |
|---|
| ・つながりの活動。 |
| ・はまらせん農園の観察力、実践力。御船町の「地域包括ケア会議」問題解決の組織的対応力。小さなことでもないがしろにしないこと。「つながり」が人を元気にすることや新しい「資源」、「助け合い」を生むなど、具体的な事例をおききして、自分もできることが何かあるのではないかと思えました。先生の研究を今後も各所で発表して下さいをお願いします。 |
| ・グループトークはよかった。 |
| ・「つながり」の作り方や健康との相乗効果。ママフェスタを成功させた清水さんのお話。1、2、3大切にします。 |
| ・「つながり」と健康の因果関係。 |
| ・近藤先生の講演が、いろいろな事例もあり、とても面白かったです。 ・グループトークでも”つながり”の話しが様々出て、機会が増えれば地域のつながりがもっと増えるのではと思いました。 |
| ・近藤先生の講義後半、地方や各国の面白い健康づくりへの取り組み紹介。 |
| ・つながりは健康づくり→まちづくり ・家庭・地域・仕事・趣味など複数のつながりを ・社会の中で役割をもつことが大切 |
| ・つながり、絆は東北を連想していたが、私達のまわりに直接関係している事を気付いた。 ・健康を維持していく為にはメンタル面が大切だと思った。 |
| ・だれもが生涯役割を意識できるような地域社会を。 |
| ・「つながり」の大切さは認識していたが、今日の講演で改めて感じた。今後もさらに地域、家族との「つながり」を深め、様々な活動が続けていきたい。 ・2件の事例発表もすばらしく、とても参考になった。 |
| ・孤独からの脱却と健康長寿維持の為に、社会との”つながり”を持つことがよいこと。 |
| ・リアルなつながりが健康への効果があることがよく分かりました。しかし、リアルなつながりはうとうといんです。 |
| ・つながりと健康が強い結びつきをもっていることに驚きました。 |
| ・参加は少なめだったが、少数精鋭だったか。 ・講師とフロアとのやりとりがあれば良かった。 |
| ・となりどうしの「つながり」が大切だと思います。 |
| ・「健康の多くは社会環境で決まる」 ・具体的に活動している人の生の声がきけたことは良かったです。 |
| ・つながりを持つ高齢者ほど元気になる。 →町会役員としてもっと取り組むべき企画があるのではないかと反省。 →町会会館を利用したふれあいイベントを町会全戸に呼びかけて行うべきでは |

Q6. 自治基本条例の理念を啓発するための意見

| |
|---|
| ・広報及び町内会へのPR活動 |
| ・この条例が基となって、はじまった活動・決まったルールなど、もし過去の事例があれば、そういった事例を紹介することで、条例の概要を理解するのによいと思った。(条例ができたばかりで、まだ事例がないかもしれませんが・・・) |
| ・住民のまちづくり参画は、行政の作ったプランについての意見聴取ではなく、プラン作成当初から市民参加が必要。これまで、行政－市民の関連はあるが、議会・議員の参画が希薄である。議会－行政－市民の三者での協働会議をもっと立ち上げるべき。 |

| |
|---|
| <p>・今後関心を持って勉強します。</p> |
| <p>・近藤先生の現場に立ち合った具体的な事例の数々をお聞きして人とのつながりの大切さがよくわかりました。 戸田市にもいろいろの問題があるかと思いますが、今どのような状況であるか知る手段、方法を広報においておしえて下さったらいいと思います。</p> |
| <p>・地域包括支援センターとも連携を深めさせていただきたいです。</p> |
| <p>・今日のグループトークが、とても有意義でした。年上の方のお話は、生きてきた歴史言葉の重みを感じました。</p> |
| <p>・広報よりも、TV(戸田ポートの日程を流すよりも、本当に周知したければ、是非)とか、市庁舎1F西口入口のモニターでも流すのがよろしいではありませんか？</p> |
| <p>・①駅 ②公民館・文化会館など ③店頭、店中(コンビニ・スーパー・居酒屋) など多くの人が利用する場所での、大きくてわかりやすい、まんがキャラ入りのポスター掲示。</p> |
| <p>・まだまだ理解されていないと思いますので、こうしたフォーラムやワークショップを開催していったらいいと思います。 ・まちづくりを進めていくうえで、人材育成がまず必要ではないか。</p> |
| <p>・何かの市民コアを作って、市民対市民が直接対談出来る様に行政が場作りをすべきではないでしょうか。 ・行政内にも各課横つなぎが大切なので、庁内で若い人のグループをつくる必要があると思います。</p> |
| <p>・自治基本条例と言うものを初めて知ったので(他の人も沢山いると思う)、今回の様な機会を繰り返し繰り返し、開催したらよいと思います。 ・参加・参画は自分自身の勇気と第一歩が出来るか否か、かと思う。</p> |
| <p>・あらゆる地域団体等を通じ、継続的に周知啓発をする。市民には、まだまだ理解、認識されていない。</p> |
| <p>・戸田・蕨・川口は近隣で、住民にとっては、となりの市民だが生活は戸田が中心という人もいるので、うまく協同してほしい。もったいない気がします。</p> |
| <p>・小さな実践例の積み上げを冊子にまとめる。</p> |
| <p>・自治基本条例の理念は抽象的で、概念を理解するのは難しいかも。 ・自治基本条例をテーマにあげて、あるいはそれを前面に出すと、むずかしいイメージが先に立ってしまうので、自治基本条例の理念をふまえた活動事例などがメインの(前面に出る)楽しいイベントを企画して、そこに参加したら、こういう活動が自治基本条例の理念なんだとわかるように伝えられないでしょうか。 これって今日の近藤先生の知らずに健康になってしまうという考え方と似ています。</p> |
| <p>・「自治基本条例」という名称で「自治体側の何か」と思い込まれてしまうのでは。「つながり・まちづくり仕組み条例」(まだカタいか！)などの別称を考えるのも良いのでは。</p> |